

令和5年度
未来を切り拓く
Dream授業
報告書

令和5年8月1日～8月4日



静岡県スポーツ・文化観光部総合教育局総合教育課

目 次

1	授業概要	1
2	授業開催までの流れ	2
3	受講者の概要	3
4	授業スケジュール	5
5	講師・講義内容一覧	6
6	講義の様子	7
7	グループディスカッション・発表	12
8	受講者の振り返り	15
9	受講者アンケート集計結果	16
10	保護者の感想	18
11	ユースリーダー	20

1 授業概要

1 日 程 令和5年8月1日（火）から8月4日（金）まで （3泊4日）

2 方 法 対面による講義、グループディスカッション及び発表

3 会 場 静岡県総合教育センター（掛川市富部 456 番地）
菊川市上倉沢公会堂（菊川市倉沢 1121 番 1 号）

4 受 講 生 県内の中学1・2年生 30名（応募者82名）

5 授業の概要

(1) 各界を代表する講師陣による講義【世界・地域を知る】(50音順、敬称略)

講師	役職等
渥美 万奈	ソフトボール元日本代表・東京オリンピック金メダリスト
加藤 百合子	株式会社エムスクエア・ラボ代表取締役
川勝 平太	静岡県知事
木南 竜平	近畿大学水産研究所助教
櫛野 展正	アーツカウンシルしずおかチーフプログラム・ディレクター
高畑 幸	静岡県立大学国際関係学部教授
矢野 弘典	(一社)ふじのくにづくり支援センター理事長、(公財)産業雇用安定センター会長
SPAC 劇団員	県立劇団（演劇・舞台芸術）

(2) A L Tとの交流【世界に触れる】

世界各国から静岡県に来ているA L Tや国際交流員と交流

(3) 俳優による表現指導等【感性・表現を磨く】

現役の劇団俳優によるデモンストレーションとワークショップ

(4) 同世代の仲間とのディスカッション【感性を磨く】

異なる志を持つ同世代の仲間とのグループディスカッション

(5) 発表【表現を磨く】

グループディスカッションの結果をまとめ、発表

3 受講生の概要

1 受講生の学年・性別

学年	男子	女子	計
中学1年生	10	7	17
中学2年生	6	7	13
計	16	14	30

2 受講生の所属中学校一覧

※（ ）内の数字は2人以上の場合の人数

受講生居住市町	学 校 名	
静岡市(9)	静岡大学教育学部附属静岡中学校(4)	静岡英和女学院中学校
	静岡市立長田西中学校	静岡北中学校
	静岡市立清水第七中学校	静岡サレジオ中学校
浜松市(10)	静岡県立浜松西高等学校中等部(2)	浜松市立南陽中学校
	浜松市立蜷塚中学校	浜松市立中部中学校
	浜松市立北部中学校	浜松市立開成中学校
	浜松市立入野中学校	浜松日体中学校
	浜松市立篠原中学校	
御殿場市	御殿場市立富士岡中学校	
伊東市	伊東市立北中学校	
沼津市(2)	沼津市立原中学校	沼津市立第四中学校
富士宮市	富士宮市立富士宮第四中学校	
藤枝市	藤枝市立青島北中学校	
島田市	島田市立島田第二中学校	
牧之原市	牧之原市立相良中学校	
掛川市	掛川市立大須賀中学校	
磐田市	磐田市立神明中学校	
湖西市	湖西市立岡崎中学校	

3 在籍学校種別

種類	人数
国立	4
公立	22
私立	4
計	30

4 将来の夢（複数回答）

将来の夢	人数	将来の夢	人数
IT 関係	2	パティシエ	1
建築士	2	看護師	1
人を救える仕事	1	ツアーコンダクター	1
女優	1	地学に関する仕事（気象庁等）	1
プログラマー	1	動物に関わる仕事	1
獣医	1	自動車メーカーのデザイナー	1
システムエンジニア	1	バレーボール選手	1
水泳選手	1	世界の人に笑顔を届ける仕事	2
人の役に立つ仕事	4	薬の研究開発	1
農業	1	毎日楽しく過ごせる雑貨の開発	1
どんな人とも関わり合える大人	1	デザイナー	1
公認会計士	1	世界で活躍できる人材	1
編集者	1	フライトドクター	1
薬剤師	1	博物館の学芸員	1
社会に貢献する人	1	歴史の研究者	1

4 授業スケジュール

	8月1日(火)	8月2日(水)	8月3日(木)	8月4日(金)		
6:30					6:30	
7:00		朝食	朝食	朝食	7:00	
		次時の準備	移動の準備	荷物整理/布団等回収		
8:00		グループディスカッションについて	バス移動	グループディスカッション⑤	8:00	
		次時の準備				
9:00	講義④ 木南竜平講師 「チョウザメの超メス ～生物学を産業に活かす～」	講義⑦ 加藤百合子講師 「自分を表現しよう」 ハーブの収穫体験	講義⑦ 加藤百合子講師 「自分を表現しよう」 ハーブの収穫体験			9:00
10:00	レポート記入 振り返り 次時の準備					10:00
11:00	受付 事務連絡	グループディスカッション①	バス移動	発表・審査・講評	11:00	
12:00	昼食	昼食	昼食	昼食	12:00	
	準備	次時の準備	次時の準備			
13:00	講義① 榎野展正講師 「パラレルキャリアのすすめ」	講義⑤ 矢野弘典講師 「夢をえがこう」	講義⑧ 高畑幸講師、ALT 「多文化共生って何だろう」	スピーチ原稿作成	13:00	
14:00	レポート記入 振り返り 次時の準備	レポート記入 振り返り 次時の準備	ALT等との交流1	1人1分スピーチ	14:00	
15:00	講義② 渥美万奈講師 「夢を叶えるために」	講義⑥ SPAC 「静岡から世界へ 舞台俳優の仕事について」	ALT等との交流2	閉講式 記念撮影 解散	15:00	
16:00	レポート記入 振り返り 次時の準備			次時の準備		16:00
17:00	講義③ 川勝平太講師 「子どもたちへのメッセージ」		グループディスカッション③		17:00	
18:00	夕食	夕食	夕食		18:00	
	次時の準備	次時の準備	次時の準備			
19:00	全体オリエンテーション	グループディスカッション②	グループディスカッション④		19:00	
20:00					20:00	
21:00	入浴 (研修班別)	入浴 (研修班別)	入浴 (研修班別)	GD④続き	21:00	
	オリエン テーション (研修班別)	GD②続き	GD④続き			
22:00	片付け・就寝準備	片付け・就寝準備	片付け・就寝準備		22:00	
	就寝	就寝	就寝			

5 講師・講義内容一覧

(講義順、敬称略)

1 榑野 展正 / アーツカウンシルしずおか チーフプログラム・ディレクター

講義内容 : パラレルキャリアのすすめ
日 時 : 8月1日(火) 13時~14時
場 所 : 静岡県総合教育センター 第一会議室



2 渥美 万奈 / ソフトボール元日本代表 東京オリンピック金メダリスト

講義内容 : 夢を叶えるために
日 時 : 8月1日(火) 14時45分~15時45分
場 所 : 静岡県総合教育センター 第一会議室



3 川勝 平太 / 静岡県知事

講義内容 : 子どもたちへのメッセージ
日 時 : 8月1日(火) 16時30分~17時30分
場 所 : 静岡県総合教育センター 第一会議室



4 木南 竜平 / 近畿大学水産研究所助教

講義内容 : チョウザメの超メス~生物学を産業に活かす~
日 時 : 8月2日(水) 8時45分~9時45分
場 所 : 静岡県総合教育センター 第一会議室



5 矢野 弘典 / (一社)ふじのくにづくり支援センター理事長

講義内容 : 夢をえがこう
日 時 : 8月2日(水) 13時~14時
場 所 : 静岡県総合教育センター 第一会議室



6 SPAC / (公財)静岡県舞台芸術センター

講義内容 : 静岡から世界へ 舞台俳優の仕事について
日 時 : 8月2日(水) 14時45分~17時15分
場 所 : 静岡県総合教育センター 第一会議室



7 加藤 百合子 / 株式会社エムスクエア・ラボ代表取締役社長

講義内容 : 自分を表現しよう!
日 時 : 8月3日(木) 8時45分~11時
場 所 : せんがまちの棚田、上倉沢公会堂



8 高畑 幸 / 静岡県立大学国際関係学部教授

講義内容 : 多文化共生ってなんだろう
日 時 : 8月3日(木) 13時~15時45分
場 所 : 静岡県総合教育センター 第一会議室



○櫛野展正講師「パラレルキャリアのすすめ」



- ・最初の講義であるので、緊張した面持ちで聞いていた受講生であったが、全員が自分の夢を発表してからは、緊張も適度に解れ、その後は真剣にうなずきながら講義を受けていた。
- ・「何歳になっても何かを始めることは遅くない」「自分の個性を表すハッシュタグを見つけよう」「自分にしかできないことを見よう」という言葉が、夢へ向かう力になったようだ。

○渥美万奈講師「夢を叶えるために」



- ・自身のこれまでの体験や苦労した経験をお話し頂き、受講生にとってリアリティのある内容に感じたようである。元オリンピック選手と一緒にストレッチをしたり、本物の金メダルに触れられたことも良い思い出になった。
- ・「大きな目標と小さな目標をたてる」「友達と出会いを大切にする」「挨拶と返事をする」といったことは、受講生にとって分かりやすく、すぐに実践しようと感じることができた。

○川勝平太講師「子どもたちへのメッセージ」



- ・ 県知事を前に受講生は緊張した面持ちであったが、話が進むにつれて、メモをとり、うなずきながら講義を聞く様子が見られた。
- ・ 世界で争いが起こっている中、「日本は「和」を大切にしている」「日本人は鉄砲を捨てた」「富士山は日本の象徴」といった内容が受講生の印象に深く残ったようである。

○木南竜平講師「チョウザメの超メス～生物学を産業に活かす～」



- ・ 最先端の研究成果を分かりやすいスライドで説明頂き、新しい技術を現実のものとして感じることができた。受講生は講義後の質問も積極的にしていた。
- ・ 「見えている世界は人それぞれ」ということに共感を得たという感想が多く、「他人の見え方を大切にしながらより良い未来を作りたい」という考えを持った受講生もいた。

○矢野弘典講師「夢をえがこう」



- ・御自身の経験をもとに「縁（人縁、地縁、時縁）」をキーワードにした講義が、多くの受講生の心に残ったようである。
- ・講義を聞いて、人とのつながりを大事にしたいという感想が多く見られた。3つの縁のお話が、今後の自分の人生に大事であるという感想が多かった。

○SPAC劇団員「静岡から世界へ 舞台俳優の仕事について」



- ・SPAC（公益財団法人静岡県舞台芸術センター）についてだけでなく、演劇や舞台俳優の仕事等についてもお話いただいた。
- ・「相手に伝える」ということの大事さや難しさを体験した。声の強弱、高低を意識しながら話すことの大事さももちろんのこと、伝えようとする気持ちが大事であることを感じていたようである。
- ・体を動かしたり台本朗読の体験ができ、良い経験となったようである。

○加藤百合子講師「自分を表現しよう！」



- ・菊川市上倉沢のせんがまち棚田にて菊川ジュニアビレッジ*の概要説明の後、ハーブの収穫体験を行った。試飲したハーブを使ったお茶のおいしさに感動していた。
- ・普通の人ができないことを仕事とする「希少性」のこと、何事も挑戦しなければ成功しないといったメッセージが特に心に残ったようである。

※菊川ジュニアビレッジ

小・中学生に農業体験、自分たちが生産した農作物の加工・流通・販売等を経験する機会を提供し、学校や家庭では経験できない学びを通じ、社会を生きるのに必要な力を育んでいる。

○高畑幸講師「多文化共生ってなんだろう」



- ・「多文化共生」の意味を説明いただき、在留外国人が増えている中、他国の人との違いに注目しがちであるが、同じところも見つかることをお話し頂いた。
- ・全く異なる文化であっても根底ではつながっているという「島モデル」、多文化や文化のつながりの説明を受け、受講生は納得の表情で聞いていた。

○ALTとの交流



- ・各研修班にALTが入り、苦戦しながらも英語でインタビューや意見交換をしていた。
- ・徐々に笑顔が出てきて、積極的に会話をするようになった。
- ・身振りを含めた意見交換ができ、外国の文化の一端を知ることができた。

7 グループディスカッション・発表

1 グループディスカッション

(1) 進め方・時間配分等

「理想の学校をつくろう」をテーマにグループディスカッションを行った。以下の順番で活動を進めた。

- ・事前オリエンテーション（日程確認、発表までの流れや中間発表、発表本番の方法、投票の方法等の確認）
- ・班内での意見交換（ワークシートを配布し、事前課題の内容を班内で共有し、発表内容のポイント決定）
- ・班内でディスカッション、ポスター作成、発表練習時間を持て余す班や最終日の発表に間に合わない班はなく、時間設定は適切だった。

(2) 受講生の様子

受講生の多くは、主体的、積極的にディスカッションに参加し、各研修班では活発な議論が行われた。かなり白熱した議論が行われ、考え方の違いから、話し合いが止まったり、意見が激しくぶつかったりする場面も見られたが、ユースリーダーの助言を受けながら受講生自身の力で乗り越えることができた。

このような経験により、自己の意見を他者に納得してもらおうことの難しさや、他者の意見を受け入れることの大切さを学ぶことができた。

2 発表

各班 10 分の持ち時間で発表を行った。ポスターを使った発表に加え、本年度は劇形式での発表があり、各班が観覧者に考えをわかりやすく伝えようと工夫をしながら発表した。

その後、会場内にホワイトボードを設置し、各班のポスターを掲示して、来場した保護者も含め、参加者同士で意見交換を行うポスターセッションを実施した。

各班がまとめた「理想の学校」は次ページのとおり。



【A班】「自分の居場所を見つけられる学校」

自分の居場所を見つけられる学校

1. 選択授業制度

農業の特化
 (給食の食材 エコ見学
 食料自給率向上 農作業の楽しさ)

情報系
 (情報モラル プロクラミナ)

運動系 (避かざる部活とは違つ)
 (パラリンピック競技 アジアの珍スポーツ)

歴史学習
 (古墳に関して 工器はにらに関して)

他の言語の学習
 (フランス語 スペイン語 中国語
 イタリア語 ドイツ語 ヒンディー語)

保育体験
 宇宙ビジネス
 会社員投資
 経営 起業

2. 学校のとりくみ 3. 交流

- 担任交代制度
 ↳ 学校担任を学期ごとにかえる
- SDGs活動をふやす
 (お金と大公開) ⇒ リサイクル 節水 節電 (場合によって照明 エアコン 消す)
- 講師を呼んでの講義
- あいさつ運動
- 地域の清掃
- クラブ活動 (選択授業とからめる)
- オンライン授業
- ボランティア (昔の遊び体験)
- 日本の伝統
- ALTとの会話
- 職業に関して
- 高校に関して
- SDGsに関して

学校での活動を世の中に発信

自分の居場所を見つけられる学校

生徒の意欲向上 不登校の子をみる 生徒全員で参加する

基礎を早めに学習し、一年間の後半で選択授業を行う

十の内容を聞く

【B班】「未来性のある学校」

※発表は劇形式で実施した。

未来性のある学校

- ☺ ICカード
- ☺ スマホ
- ☺ スクールバス
- ☺ 頭髪
- ☺ 持続可能

- ☺ エレベーター
- ☺ ルンバ
- ☺ トイレ
- ☺ 自販機
- ☺ 自習室

【C班】「最前線で働く人材の育成」

最前線で働く人材の育成

テーマ理由

- 部活と勉強の割合を考えたときに個人の意見を尊重してその人がやりたい分野で活躍できるように
- 周りを見て自分から行動できる人材
- リーダーシップの育成

学校の特徴

- 生徒のやりたいことを支援 1人1人に集中
- 勉強と部活の割合選択 生徒におまかせ内容を学習

↓
個人の意見の尊重

勉強

- 授業と部活の時間調整
- 生徒の希望 → 設備
- イベント = 息抜き 講義
- 協力できる環境

部活

- 授業と部活の時間調整
- 安全と多くの設備
- 部活内の協力
- レクリエーション

リーダーシップ

- 自分達で委員会を行う
- 生徒主体のイベント

資格

- 多くの場面で役立つ資格を取るためのサポート
- 1 設備 2 協力 3 講義

まとめ

4つの柱。個人の意見の尊重

リーダーシップという経験

8 受講者の振り返り

1 振り返りレポート

各講義終了後、受講生に「振り返りレポート」を記入してもらった。

(1) 講義について

講義を通して

- ・自分のやりたいことは周囲の言葉（雑音）に振り回されず、自分を信じて突き進むという（講師の先生の）姿勢に感動した。
 - ・自分の好きなことをやり続けるためには、勇気を出して仲間と共に困難を乗り越えていくことが必要だと思った。
 - ・自分の信念をととても強く持つことで自分がなりたいようになれるということが分かった。
- など、自分の夢や将来に対して、より前向きに取り組もうという意識に変化したことが伺える。

(2) 仲間との共同作業・共同生活について

4日間、一緒に活動した中で

- ・知らない人達と交流するのは最初は怖かったけど始めると楽しく過ごせた。
- ・全然知らない人と3泊4日過ごして、新しい経験ができて良かった。
- ・学校とは違う感覚を味わえてよかった。

など、人間関係が広がったことや、普段の学校生活とは異なる宿泊を伴う行事に参加できたことが印象に残っているようであった。

2 1分間スピーチ（発表）

4日目に、受講生全員が4日間を振り返り「1分間スピーチ」を行った。本年度は初めて総合教育センター大講堂を会場とし、全受講生がステージ上に立ち発表した。3泊4日の全てのプログラムを受講しての感想や将来に向けての思いなど、それぞれが堂々とした姿で皆の前で発表を行った。観覧に来ていた保護者の方々も、子どもの成長した姿を写真に収めていた。



9 受講生アンケート集計結果

受講生には、全日程終了後にDream授業全般についてのアンケートを実施した。主要な質問に対する回答結果は下記のとおりである。

問 「未来を切り拓くDream授業」に参加して良かったですか。

1	とても良かった	29人	100.0%
2	良かった	0人	0.0%
3	普通	0人	0.0%
4	あまり良くなかった	0人	0.0%
5	良くなかった	0人	0.0%
合計		29人（無回答者1人）	

○「とても良かった」を選んだ理由（主なもの）

仲間	<ul style="list-style-type: none"> ・別の地域や環境の人と交流できた。 ・地域の違う人と話すことでそれぞれの学校の取組みも知ることができ、今後の学校生活に生かせると思った。 ・色々な人と関わり合えた。 ・一緒に参加した仲間から刺激を受けることができ、とてもいい4日間になった。 ・初めて会う同じ中学生との生活で、普段は味わうことのできない刺激を受け、貴重な経験ができた。
新しい知識や考え	<ul style="list-style-type: none"> ・自分以外の意見を聞くことにより、世界が広がった。 ・いろいろな学校の人と意見を交換でき、新しい視点でものごとを考えることができるようになった。貴重で、一生の宝物になる経験になった。 ・自分の考える幅が広がった。
自分の成長	<ul style="list-style-type: none"> ・ただ夏休みを過ごしているだけでは絶対に体験できないとても貴重な時間を過ごせた。全く知らない集団の中に飛び込む勇氣、リーダーシップ、協調性の重要さなど、この4日間で得るものは大きく、多かった。 ・最初の方は慣れなくて大変だったが、最後はみんな仲よくすることができた。グループでプレゼンを作り上げることができてよかった。
夢や将来	<ul style="list-style-type: none"> ・自分と違う意見をたくさん知ることができ、未来について考えることができた。 ・講義で学んだことを生活や夢の実現に生かしていきたい。 ・いろんな講義を聴いていくうちにこれからの人生や、夢の例がわかった。 ・大人になってから意識することだけではなく、中学生から意識できること、日頃から心がけたいことを多く教えていただいたので、これからの生活、そして、自分の夢の実現のために生かす。

問 授業の日程は長かったですか、短かったですか。

1	長かった	2人	6.9%
2	ちょうど良かった	15人	51.7%
3	短かった	12人	41.4%
合計		29人	

（「1 長かった」「3 短かった」と答えた14人）どのくらいの日程が良かったか。

1	1日	0人	0.0%
2	2日	1人	7.1%
3	3日	1人	7.1%
4	5日	5人	35.7%
5	6日	6人	42.9%
6	その他（1週間）	1人	7.1%
合計		14人	

10 保護者の感想

D r e a m授業終了2か月後に保護者に対してアンケートを実施した。学習面だけでなく、生活面等においても、D r e a m授業参加前に比べて、意欲的、前向きに行動しようという意識が高くなったようである。また、実際に積極的に行動している様子も伺えることから、参加後すぐに、受講生の意識の変化が行動に現れたと考えている。

主な意見は以下のとおりである。

問 D r e a m授業参加後のお子様に、どのような変化がありましたか。

学習面	<ul style="list-style-type: none"> ・自分から率先して勉強するようになった。 ・視野を世界に広げる意識が以前より持てるようになったので、外国語に興味を持つようになった。 ・学ぶことが楽しくなったようだ。 ・以前より積極的に学習に取り組む様になった。夏休み課題に、Dream 授業参加前よりも、積極的に取り組んでいた。 ・何故今勉強するのか、その意味が深まったと思う。 ・自分の目標に向けて計画をたてて、前向きに学習するようになった。
生活面	<ul style="list-style-type: none"> ・朝時間通りに起きてエクササイズやジョギングを継続している。 ・自分の意見を持ち、他人を尊重する仲間と会えたことで、様々な物事に対して、マイナスにとらえなくなった。 ・自分の使用した洗濯物や食器など自ら洗ったり干したりするようになった。 ・部活や習い事にも日々忙しいが、効率的に行動できるよう時間などを工夫するようになった。 ・ちょっとした困難で簡単に諦めてしまう事が多かったが、粘り強く頑張れるようになってきた。 ・反抗期のような所が出始め、いつもツンツンしている様子だったが、折に触れて「ありがとう」と言ってくれるようになった。 ・少しずつだが、他人に対する気配りや配慮ができるようになった。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ステージ上で堂々と弱い自分についてスピーチしていたので、この合宿でいろいろな方の影響で今の自分というものに自信が付いたのではないか。 ・部活動で中心選手として活躍するようになり、チームをまとめる意識や、初心者の子に寄り添う姿勢が出てきたようだ。 ・4日間慣れない環境の中で過ごせたことで自分への自信につながったようだ。 ・世界で起こっている報道に対して自ら調べようとする力がついてきた。 ・なぜ、なぜ、なぜ、を繰り返しながら物事の本質を見極めようとする思考力が芽生えてきたようだ。 ・Dream 授業に参加できたことで自信がついたようで、自己肯定感が高まり、生き生きとしている。

問 Dream授業参加後のお子様の感想で、特に印象に残る内容はどのようなものですか。

- ・「この講師の先生からは、こんなことを学んだ」と文章に書いて机に貼っていた。
- ・Dream授業に参加したことが自信になって、「Dream授業で経験したから、学校でも頑張ってみる」と挑戦する力にしていた。
- ・講師の方々の各講義の内容は違うが伝えたい事は同じだった…と言った事。本質を見抜いたんだなと思った。
- ・自分だけで解決しようとせず、それぞれの得意な物を持っている人を巻き込んで問題を解決すればいいと言っていました。
- ・オリンピックのメダルを触らせていただいた事を目を輝かせて話していた。
- ・グループディスカッションで意見を出し合い、まとめる過程で、ユースリーダーの助言や対応から「自分もそうになりたい」と目標になる存在として話していた。
- ・Dream授業で出会った同年代の子のすごさ（特技）について、憧れや、称賛のこもった口調で話してくれたり、自分と同年代の子どもたちが製造しているハーブティのおいしさや製造に携われることを羨ましそうに話してくれたりしました。
- ・一緒に参加していた初めて出会った中学生からよい刺激を受けたようで、帰ってからもその友だちの話を目を輝かせて話していました。

11 ユースリーダー

1 ユースリーダー

ユースリーダーは、授業の運営の一翼を担うボランティアとして、過去の「未来を切り拓く Dream 授業」及び「日本の次世代リーダー養成塾」の参加者に協力を呼び掛け、大学生1名、高校生5名の計6名に協力していただいた。

ユースリーダーには、授業の準備、講義内容の記録作成、授業の様子の写真撮影といった事務的な作業だけでなく、受講者に対する助言、生活全般の指導など、様々な場面で協力していただいた。ユースリーダーの力なくして授業を円滑に進めることは不可能であった。ユースリーダーの活躍に感謝するとともに、敬意を表したい。

ユースリーダー自身も、講義の後の振り返りやディスカッションで助言したり、悩みに寄り添ったり、一緒に生活したりしていく中で、大きく成長していく姿が伺えた。発表準備を進める中では、笑顔でアドバイスしたり、親身になって寄り添う姿が印象的であった。この経験が自らの夢に向かって努力を続けることにつながり、社会に大きく羽ばたいていくことを願っている。

2 受講生の感想（事後アンケートより）

(1) ユースリーダーについて

- ・高校生や大学生など年が近めの人たちがいることで安心して生活することができた。
- ・プレゼンテーションを考える時や発表では、私たちの柱になって支えてくれたので、安心して考え、発表することができた。
- ・話し合いがなかなか進まず、うまくいかなかったとき、状況を整理して明確なアドバイスをしてくれた。
- ・何に関してもやさしく楽しく接してくれた。
- ・親しみやすいという印象が大きく、私の学校生活について聞いてくれたり、趣味について話してくれた。
- ・本当に色々なことに挑戦していてかっこいいなと思ったと同時に、自分も挑戦できるようになりたいと思った。

4日間の生活の面倒や様々な場面での助言や声掛けが受講生にとって強く印象に残ったようである。



(2) ユースリーダーとして参加することについて

問 高校生になったらユースリーダーとして Dream 授業に参加したいか。

参加したい	23人(76.7%)
どちらとも言えない	5人(16.6%)
参加したくない	2人(6.7%)

多くの受講生は、4日間の経験からユースリーダーへの興味やあこがれがあることが分かった。高校生になってユースリーダーを希望してくれる子がたくさん出ることを期待したい。

令和5年度 未来を切り拓く Dream 授業 報告書

静岡県スポーツ・文化観光部総合教育局総合教育課

〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号

電 話 054-221-3764

F A X 054-221-2905

電子メール sougouEDU@pref.shizuoka.lg.jp